

九谷和ガラスの接合技術でグラス再生

清峰堂株式会社

製造過程での環境に対する配慮として、ガラス部分では鉛を含まない素材を中心に開発を行っています。ソーダガラスやバリウムクリスタル、ファインクリスタルなどを採用しています。蛍光灯のガラスを再生したリサイクルガラスも製品化しています。

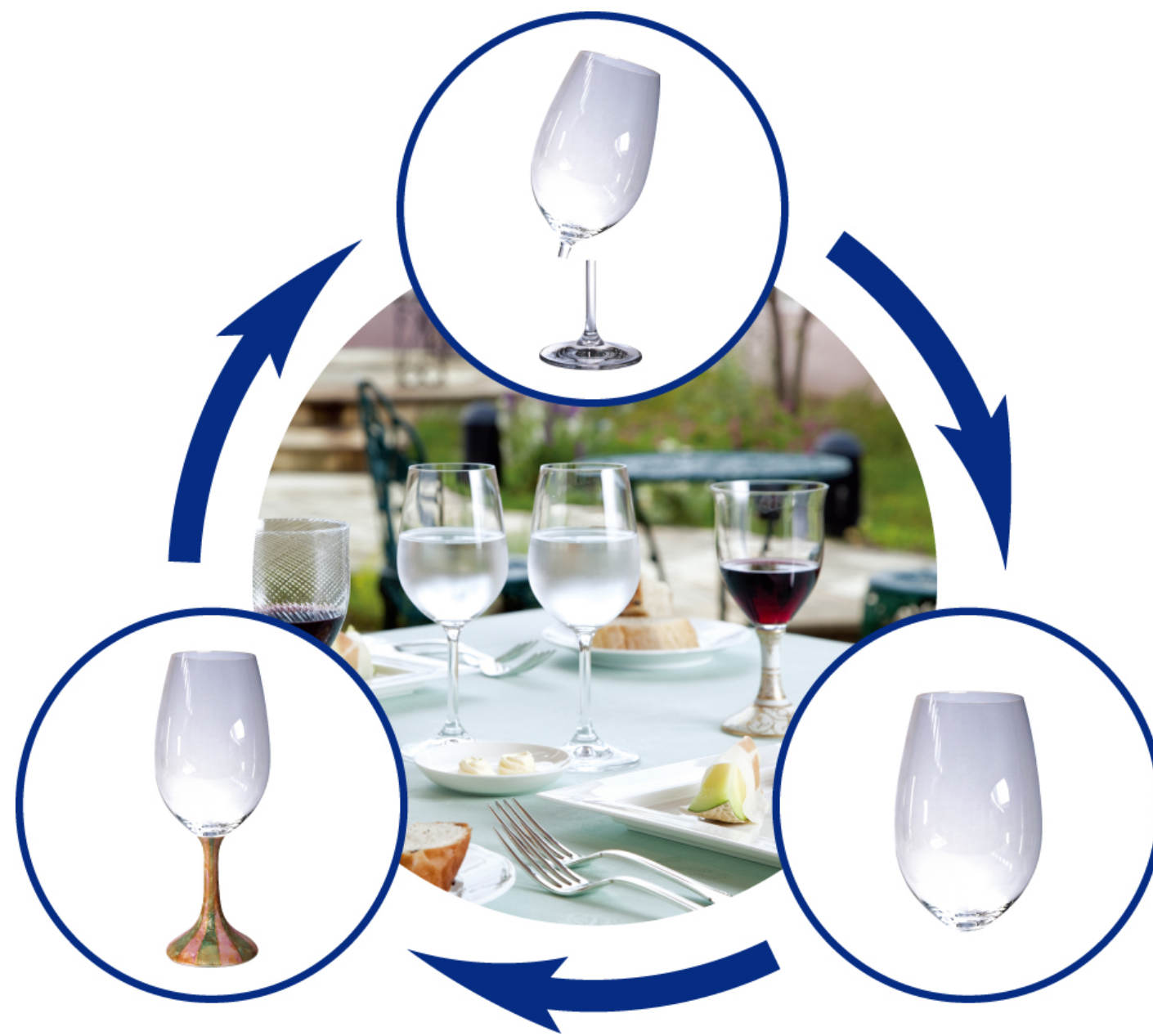
また、九谷焼の脚（ステム）や台座の絵付けに関しましても、直接口にしたり、飲み物、食べ物が触れることはありませんが、県工業試験場九谷焼技術センターで開発された無鉛和絵具に最大限切り替えて絵付けを行っています。これは、壊れて捨てる時のことを考え、土壌汚染や水質汚染が無いようにと心掛けているためです。

更に、脚付きグラスの脚（ステム）の破損または、ボール部分が破損した場合、壊れた部分を取り替えるグラス再生のサービスを行っています。思い出の詰まった大切な品であったり、大切な人からの贈り物であったりと色々なことがあるのだと思われます。ボール部分だけでも残して再生したい。ステム部分だけでも再生したいとの要望は年々多くなっています。

確実に使い捨てる時代から修理をして長く大切に使う時代へと戻っています。正しく伝統工芸品の長所を生かせる時代です。量より質を求める時代。それゆえ、九谷和ガラスを製造する過程でも、修理して使っていただけるよう念入り且つ細部にまで丹念に作り上げているのです。



九谷和ガラス



グラス再生のサービス

清峰堂株式会社

923-110 石川県能美市新保町ヲ 48

0761 (57) 2133 info@seihou-do.com

九谷和ガラスのホームページ

<http://www.kutani-wa-glass.com/>

審査委員コメント

ガラスは割れると捨てられるもの、というイメージを覆す画期的な取り組みです。

漆器は修理（塗り直し）が可能なものも多く、「伝統産業として長く伝わるものは、使いすてではなく、大事に物を長く使う」という石川の良き文化を改めて考え直すものです。

修理・メンテナンスできるようにすると、生涯使用のコストとしては逆に安くなることもあり、九谷焼の台座とガラス部の組み合わせにより多様なバリエーションを可能としている点も高く評価できます。